

大鹿村リニア対策委員会報告

大鹿村ではリニア工事による生活や環境に与える影響をできる限り少なくし、リニア工事が地域経済や村づくりに貢献されるよう、「大鹿村リニア対策委員会」で要望事項や対策を検討しています。

リニア事業に係る影響対策について、関係 3 者（JR 東海、中部電力、長野県）に求めた意見・要望について、第 10 回（9 月 25 日開催）及び、第 11 回（10 月 20 日開催）の大鹿村リニア対策委員会において確認した事項を整理、報告します。また、一部の事項について、大鹿村意見（網掛け部分）を付しました。

○路線計画等について

1. 小渋川橋梁について

- ・橋梁設置は景観への影響も大きく、地中化を要望する意見。
- ・小渋川橋梁設置による景観への影響は大きいと思うが、工事や運行へのリスクを低減すること、住民生活や環境への影響をできる限り抑えることを優先せざるを得ないとする意見。

【大鹿村意見】

・景観への影響を懸念し地中化を要望する意見もあるが、有識者意見から小渋川を橋梁で通過することで工事や運行へのリスクを低減すること、土石流への影響や深層崩壊を誘発する可能性は少ないとの意見を踏まえ、村では発生土運搬車両の増加や工事期間の延長等、住民生活や環境への影響をできる限り抑えることを優先するため、小渋川の橋梁設置は止むを得ないとする。

○リニア事業に係る影響対策について

1. 松川インター大鹿線の改良について

- ・JR の改良計画以外の箇所について、狭隘箇所等を選定し、長野県、JR に改良要望する。
- ・四徳大橋の拡幅（欄干の付け替え）は、JR と長野県で検討する。
- ・半の沢橋の通行対策、発生土置場としての活用は 4 者協議（大鹿村、中川村、JR、長野県）により状況確認していく。
- ・井戸入沢橋の架け替え及び前後の狭隘区間の改良は、改良期成同盟会による要望を継続していく。
- ・トンネル及び拡幅工事の内容、住民生活に支障のない施工方法等の説明について、県予算の議決を含め日程の提示を要望。
- ・リニア工事説明会前に道路改良工事に着手すること。

2. 道路改良中（松川インター大鹿線、赤石岳公園線、国道 152 号）の対応について

- ・地元業者が受注できるような発注方法を要望。
- ・住民生活に支障のない（片側通行、夜間作業等）工事の実施を要望。

3. 道路改良後の渋滞箇所について

- ・JR 及び道路管理者で迅速に渋滞解消の対応に努めること。また、文書で確認を行うこと。

4. 赤石岳公園線改良計画について

- ・日向休～釜沢側及び上蔵集落内の狭隘区間の改良を要望。
- ・道路改良工事の地元説明と具体的なスケジュールの早期開示を要望。
- ・リニア工事説明会前に道路改良工事に着手すること。

5. 国道 152 号（青木地区）改良計画について

- ・下樽渡橋は仮設でなく永久橋を要望。
- ・堂垣外地区沿線の振動、騒音対策、農道を使用した国道の迂回の検討を要望。
- ・道路改良工事の地元説明と具体的なスケジュールの早期開示を要望。
- ・リニア工事説明会前に道路改良工事に着手すること。

6. 国道152号（市場通り）代替ルートについて

- ・小学校、福祉施設を回避する小渋川の左岸ルートを要望。
- ・リニア工事説明会に左岸ルートの概略計画の提示を要望。

【大鹿村意見】

- ・国道152号（市場通り）の代替ルートは小渋川の左岸ルートとすること。

7. 国道152号（市場通り）を工事用車両が通行する場合の協定書の締結について

- ・国道152号（市場通り）代替ルートが設置されるまでの、工事用車両の通行台数、時間等を明確にするための協定の締結を要望。

8. 送電線の地中化要望について

- ・現地調査後のルート協議において、青木川～小渋川変電施設までの地中化を含め、景観に配慮したルート計画を示すよう要望。

9. 発生土仮置き場の確保、工事用車両の平準化について

- ・仮置き場計画地の範囲等を明確に示し、地権者及び地元住民に説明すること。
- ・仮置き場所について、農地は避けてほしいとする意見。
- ・工事用車両の走行について、
 - ①地元業者と同様に第1、第3土曜日は止むを得ないとする意見。
 - ②平準化のため、JRの計画通り土曜日の走行は止むを得ないという意見。
 - ③土曜日も走行不可とする意見。

10. 工事着工までの具体的なスケジュール提示について

- ・工事着手に必要な行政手続き（河川、砂防、林務等）の進捗状況について説明願う。

11. 各環境項目の測定結果の公表について

- ・住民が容易に確認できる方法とし、調査の進捗により公表すること。
- ・住宅地や小学校周辺でのモニタリング予定箇所を示し、調査方法と環境保全対策、測定結果の公表方法を説明願う。モニタリングは最盛期だけでなく、工事中継続して行うこと。

12. 生活環境に係る協定等の締結について

- ・発生土運搬車両について排出ガス適合車の使用協定、地域住民の要望による協定等の締結を要望。

13. 風評被害対策について

- ・JR、長野県による工事中の情報提供、村の活性化計画への協力を要望。

14. 医療、救急対策について

- ・大規模事故等が発生した際の医療、救急体制の整備を要望。

15. 補償等について

- ・河川の流量減少、枯渇等の影響対策として、南アルプストンネル工事では、山梨実験線での保全措置以上の対策を要望。

16. 地域貢献等について

- ・現場事務所及び宿舎の村内設置を要望。
- ・地元商品や原材料の利用等を要望。
- ・村営住宅や空家利用等の定住支援策を工事関係者に周知いただくよう要望。
- ・工事用車両の運転マナー対策、リニア工事関係車両の明示を要望。

○現在行われているリニア着工前の調査状況は、大鹿村ホームページ、大鹿村ケーブルテレビ文字放送・データ放送で確認いただけます。